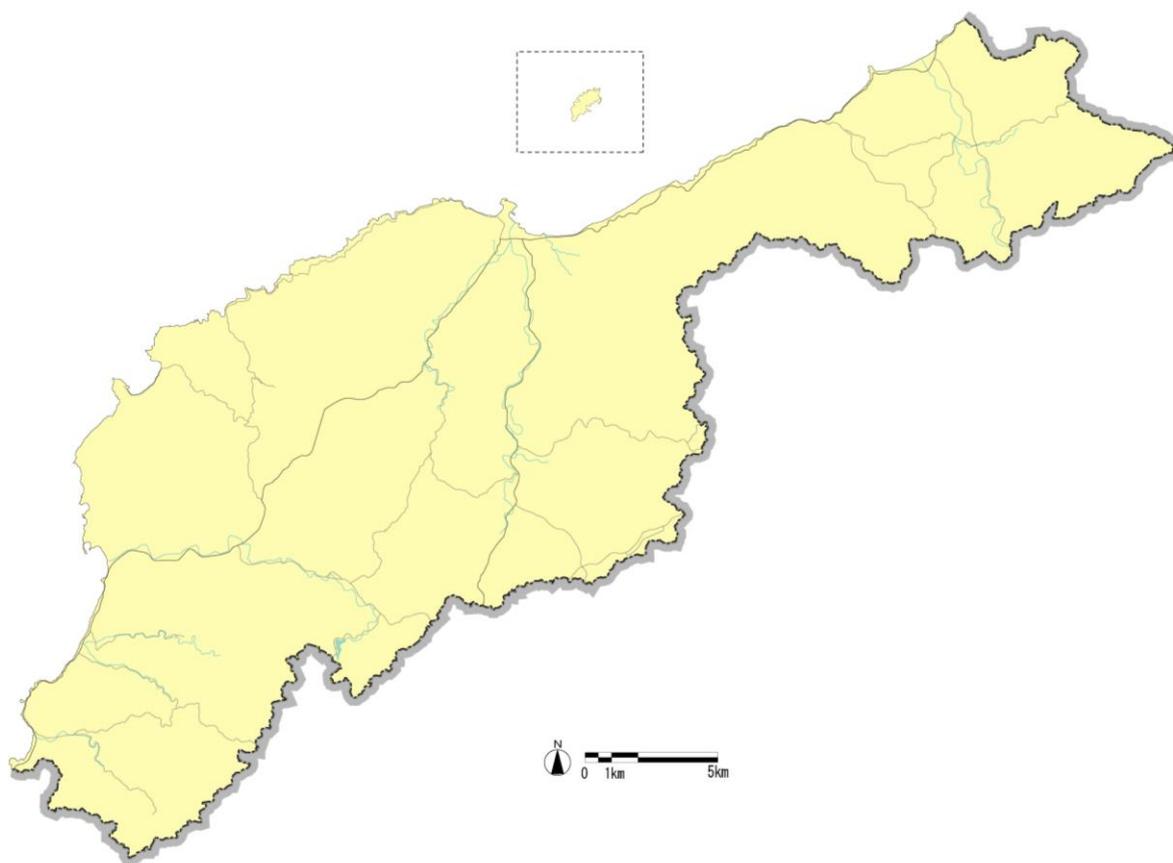


第1章 景観計画区域

1. 景観計画区域

輪島市は、標高 567mの高洲山を頂点に、100m～300mの丘陵地、荒々しい海岸線、河川沿いや丘陵地内部のなだらかな地形など多様な自然景観を有しており、これらの美しい自然景観に加えて歴史・文化・生活に培われた景観の全てを保全するため、輪島市全域を景観計画区域として設定します。

■輪島市景観計画区域図■



2. 良好な景観形成に関する方針

(1) 景観形成の目標

輪島市は、変化に富む海岸線とみどり豊かな丘陵地に抱かれた奥能登の中核都市です。海と丘陵のはざまに開けた空間には、伝統の漆器や朝市、禅宗の古刹、雪割草の群生地など、自然と生活が織りなす多様で多彩な景観が今も多く残っています。

このような伝統や文化に培われた景観を保全・育成するため、市民一人ひとりが愛着と誇りを持って景観づくりに協力し、後世へ継承していくことを目標とします。



2) 景観形成の方針

輪島塗は、古くから受け継がれてきた日本を代表する当市の伝統工芸です。ひとつのものを修復しながら大切に使い続けるという環境にも配慮したその精神は、残されてきた景観を保全・育成しながら後世へ継承していくという景観の方針にも重ねられます。そこで、景観形成の方針を輪島塗の工程になぞらえて以下のとおり定めます。

方針-1 「景観の木地づくり」

輪島塗は、百を超える多くの工程を経てひとつの作品を仕上げますが、木地づくりはその中でも基礎となる作業です。良い原木を選び、漆器の形に整えることにより、木に新たな生命が吹き込まれます。

景観を考えると、その基本となるのは輪島に暮らす市民が景観を深く理解し、愛着を持つことです。市民一人ひとりが、美しいものを美しいと認識し、その景観を守っていき、育てていきと考えることが、景観づくりの第一歩であり、景観にとっての木地づくりであるといえます。

そこで、市民のみなさんが景観を学び、景観づくりに参加できるような様々な取り組みを進めていくことを方針とします。

方針-2 「景観の研ぎ・塗り・加飾」

輪島塗の漆器は、布着せや下地による補強と研ぎを繰り返すことでより強いものとなり、塗りを重ねることでより美しい輝きを放ち、使う者の手になじむものとなります。また、加飾によりその美しさが一層優れたものとなります。美しく堅牢な輪島塗の作品は、つくる人々の手を通じて感動を与えるものとなるのです。

輪島市は、豊かな自然に恵まれた能登半島の北端で生まれた歴史や文化のうえに成り立っています。その歴史や文化の中で培われてきた市街地や農山漁村と、守られてきた豊かな自然こそが輪島らしい景観であり、人々に感動を与えるものです。

そこで、現在の景観に磨きをかけるとともに、景観を阻害するものは排除し、人々に感動と安らぎを与えられる景観づくりを行うこと、さらには、新たな景観を創出する際にも歴史や文化に対する配慮を行うことを方針とします。

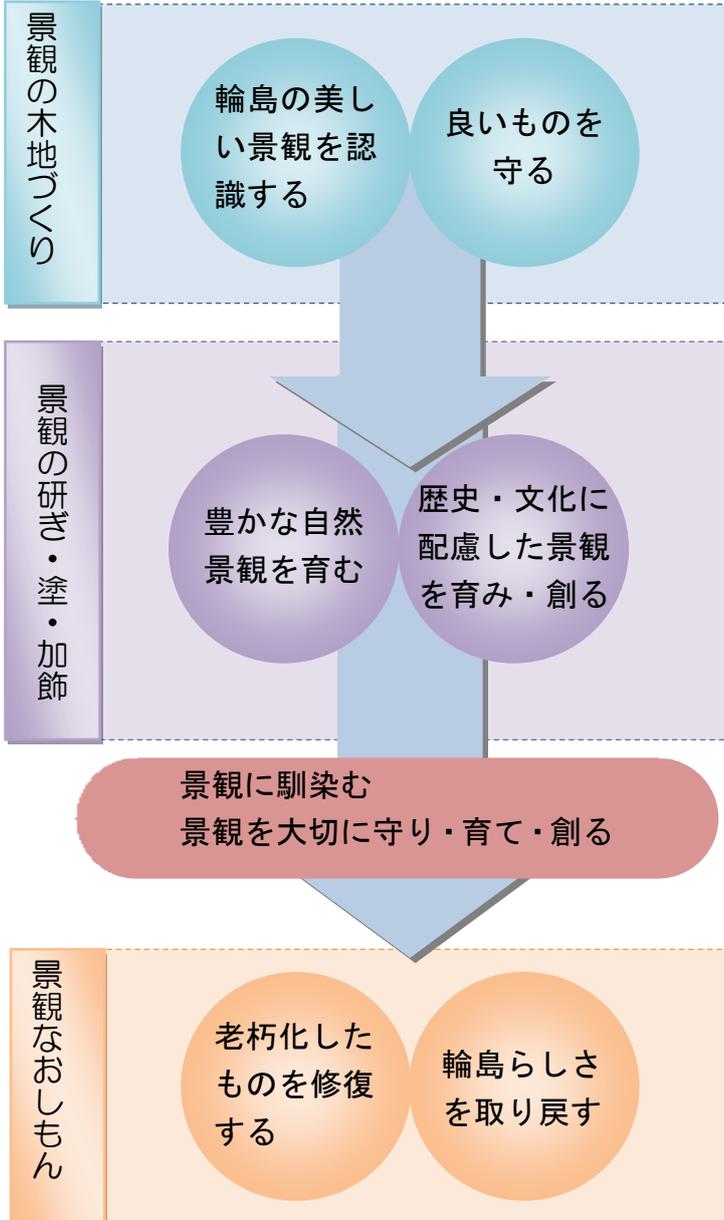
方針-3 「景観のなおしもん」

輪島塗の漆器は、傷んだところを修復することができるほか、時代を重ねる中で、より良いものに加飾していくこともできるなど、良質のものを愛おしんで永く使い続けていくことが可能です。このように修復や手直しをしながら使用していくことを「なおしもん」と呼びます。

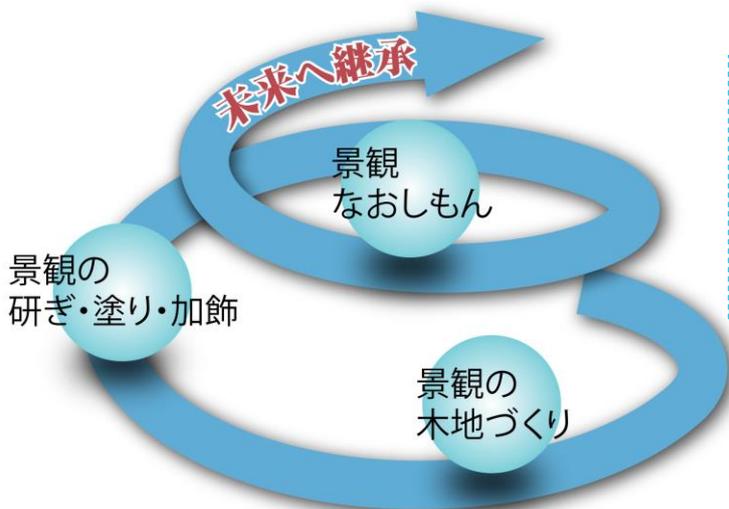
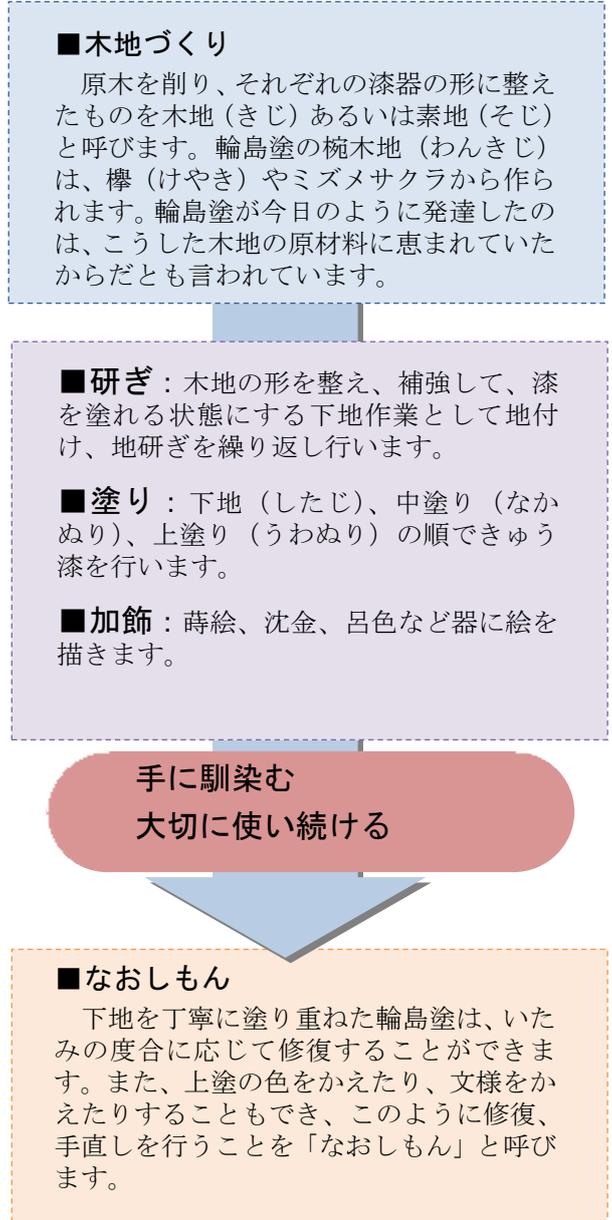
輪島の景観の多くは、長い年月の中で培われ、輪島らしく輝きを増してきました。これら輪島らしい景観をさらに良くするとともに、輝きを失ったものも再び蘇らせて、後世に継承するには、それらを常に修復、手直しすることが必要となります。

そこで、「木地づくり」・「研ぎ・塗り・加飾」によって価値を高めた景観を、「なおしもん」による修復、手直しを繰り返し、より良い景観形成を続けていくことを方針とします。

■ 景観形成方針 ■



■ 輪島塗の主な工程 ■



「景観の木地づくり」「景観の研ぎ・塗り・加飾」によって価値を高め、「景観なおしもん」を繰り返していくことで、輪島の良いものを守り、育て、創ることとなり、さらに魅力的で輪島らしい景観を、後世へ継承していくこととなります。

3. 景観類型の考え方

景観形成の目標や方針を踏まえ、海岸や山など自然的景観要素が多くを占める景観を「自然景観」、田園集落や道路など人の生活や行動などにより形成された景観要素が多くを占める景観を「まちなみ景観」と設定し、各々の景観的特性を踏まえて、面的に広がりをもつ「エリア（大区分）」と「ゾーン（小区分）」に区分します。

自然景観の「河川景観エリア」や、まちなみ景観の「沿道景観エリア」は、周辺景観が移り変わる中で、軸状に連続する景観として区分します。

また、祭りや風習など生活の営みの中で息づくような景観である「生活景観」と、自然景観やまちなみ景観などから眺める・眺められる景観として「眺望景観」については、全市域に点在する景観として区分します。

（1）自然景観のエリア区分

エリア	ゾーン	概要
海岸景観 エリア	岩礁・断崖ゾーン	曾々木、西保など主に岩場で構成されるゾーン
	砂浜ゾーン	袖ヶ浜、琴ヶ浜などの浜のあるゾーン
山地景観 エリア	山地ゾーン	他の景観エリア・ゾーンを除いた部分
	広葉樹林ゾーン	猿山岬～皆月～大沢周辺の広葉樹林が多く植生しているゾーン
	空港周辺ゾーン	能登空港周辺の山地ゾーン
河川景観 エリア	主要河川沿いの軸的な景観	

（2）まちなみ景観のエリア区分

エリア	ゾーン	概要
市街地 景観 エリア	輪島地区市街地ゾーン	輪島市の中心市街地ゾーン（用途地域内）
	門前地区市街地ゾーン	總持寺を中心とした門前地区の市街地ゾーン
里山景観 エリア	平坦地集落ゾーン	内陸部河川沿いの平地に広がる集落ゾーン （標高 50m未満、平地の広がりが 500m以上）
	山間地集落ゾーン	標高 50m以上の山間地集落ゾーン （標高 50m以上、階段状の宅地・農地）
里海景観 エリア	漁村集落ゾーン	漁港がある漁業を生業とする集落ゾーン
	沿岸集落ゾーン	沿岸部の集落ゾーン
沿道景観 エリア	主要幹線道路沿道の軸的な景観	

（3）生活景観

類型	概要
生活景観	祭り、風習、伝統芸能、朝市、振り売りなど生業が感じられる景観

（4）眺望景観

類型	概要
眺望景観	高洲山などからの雄大な眺望景観や日和山などからの景観

景観類型図

里海景観エリア

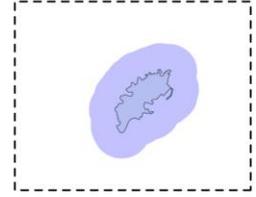
■漁村集落ゾーン



■沿岸集落ゾーン



0 1km 5km



海岸景観エリア

■岩礁・断崖ゾーン



■砂浜ゾーン



里山景観エリア

■平地集落ゾーン



■山間地集落ゾーン



河川景観エリア

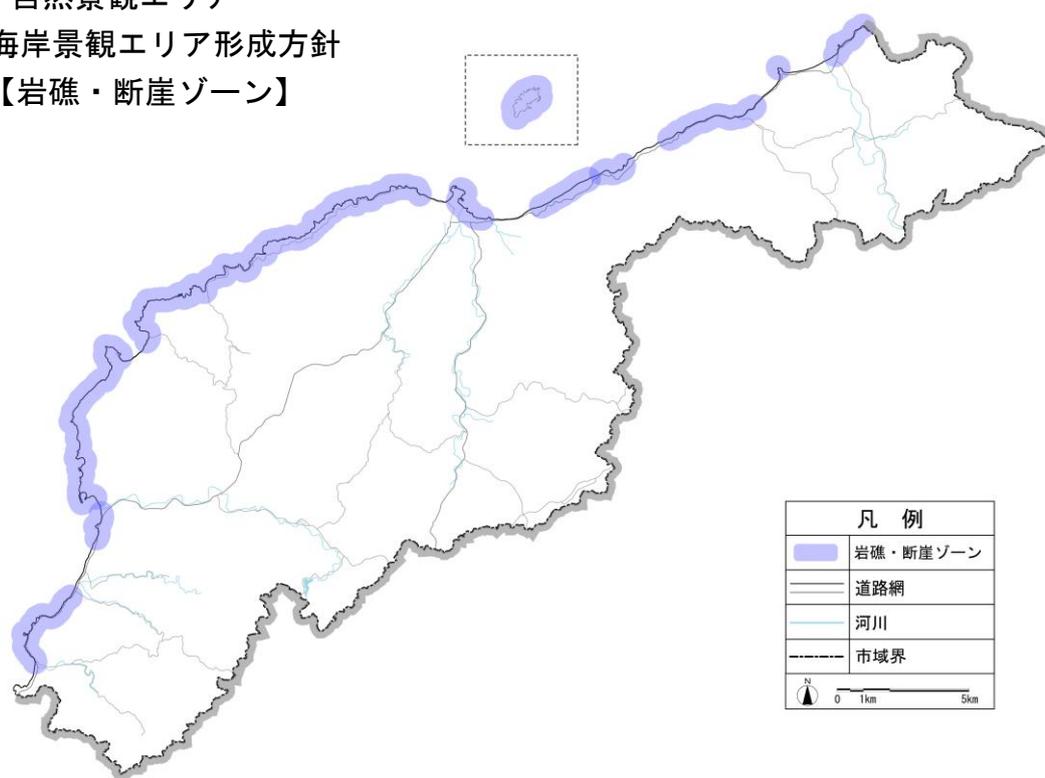


4. 類型別景観形成方針

(1) 自然景観エリア

① 海岸景観エリア形成方針

【岩礁・断崖ゾーン】



■ 景観特性 ■

- ・ 集落と日本海、背景の緑豊かな山地が一体化した景観
- ・ ポケットパーク、展望台、遊歩道などから日本海や入り組んだ海岸線を望む景観
- ・ 緑の中の灯台
- ・ 奇岩（鴨ヶ浦、千体地藏、ゾウゾウ鼻、夫婦岩、スズメ岩、権現岩など）
- ・ 滝（垂水の滝など）
- ・ 波の花、紅葉など季節の移り変わりを感じられる景観
- ・ 断崖などから望む美しい夕日



西保海岸



鴨ヶ浦散歩道



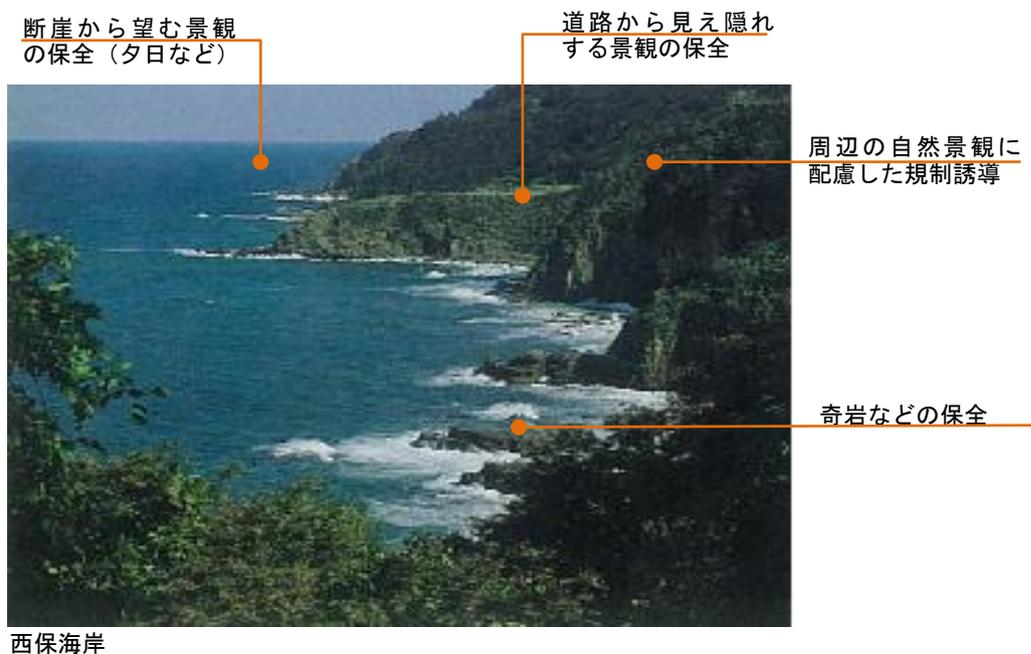
垂水の滝

■景観形成上の課題■

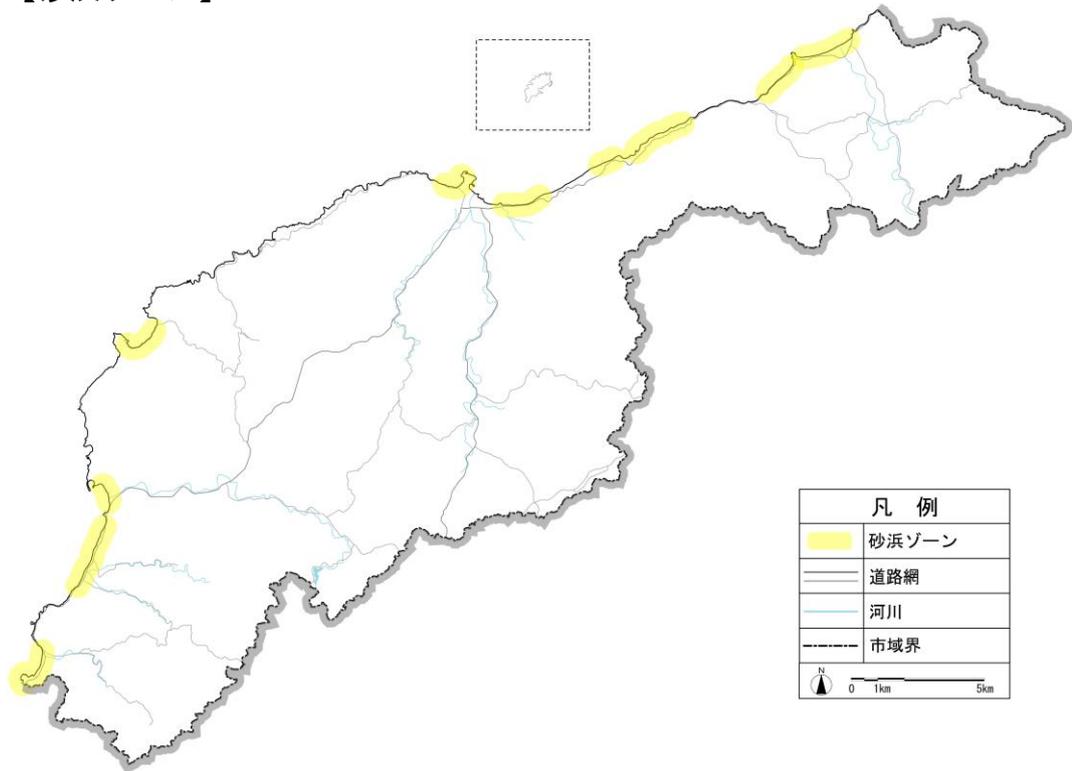
- ・海岸線は、全国に誇れる景観を形成しており、市民・事業者・行政がその価値を認識し、建築物などを建築する場合は周辺の景観との調和が求められます。
- ・ほとんどの海岸線沿いには、道路が整備されており、道路から見られる範囲においては、良好な景観形成や景観保全が求められます。
- ・窓岩などの奇岩は、風化による亀裂が懸念されており、保全が求められます。

■景観形成方針■

1. 海岸沿いの道路から見え隠れする、海・集落・緑・断崖が織りなす個性ある景観の保全に努めます。
 - ・曲がりくねった海岸沿いの道路から、美しい断崖の海岸線が見え隠れする景観が特徴であるため、道路沿いの建築物や屋外広告物の規制誘導を行うとともに、ガードレールなどの道路施設についても景観への配慮や保全に努めます。
2. 海岸景観との調和に十分配慮した景観形成に努めます。
 - ・周辺の自然景観や断崖から望む日本海の眺望景観などに十分配慮し、海岸景観と調和した景観形成に努めます。
3. 奇岩や滝など、海岸景観のアクセントとなる景観要素の保全に努めます。
 - ・海岸景観のアクセントとなる窓岩など景観要素の保全に努めます。



【砂浜ゾーン】



■ 景観特性 ■

- ・ 岩場に囲まれた砂浜（曾々木海岸、袖ヶ浜、皆月海岸、琴ヶ浜など）
- ・ 背景に広がる豊かな山地との一体的な眺望景観
- ・ 背後の松林と白砂
- ・ 透明度の高い海面
- ・ 四季の空を映す海面
- ・ 夏の海水浴客のにぎわい
- ・ 砂浜から望む美しい夕日
- ・ 漁火、星空、月などの夜間景観



袖ヶ浜



曾々木海岸・窓岩



琴ヶ浜（泣き砂）

■景観形成上の課題■

- ・海岸や親水空間の保全のため、美化活動や清掃活動などが求められます。
- ・多くの海岸で侵食や砂浜の環境悪化が進んでおり、良好な景観形成の推進が求められます。

■景観形成方針■

1. 砂浜からの夕日など海と親しめる空間づくりに努めます
 - ・周辺景観や海水浴場、砂浜の自然環境を、市民・事業者・行政が協働で守るとともに、親水空間の保全や創出に努めます。
2. 海岸景観との調和に十分配慮した景観形成に努めます。
 - ・周辺の自然景観や砂浜から海や陸への眺望景観などに十分配慮し、海岸景観と調和した景観形成に努めます。
3. 海岸清掃など市民・事業者・行政の協力・連携による景観保全に努めます。
 - ・海岸景観の保全には市民や事業者の理解が不可欠であり、市民の共有財産であるという認識のもと、市民一人ひとりが清掃・除草・緑化などの活動に参加するとともに、海岸などの利活用に努めます。

砂浜からの眺望景観に配慮



周辺の自然景観に配慮

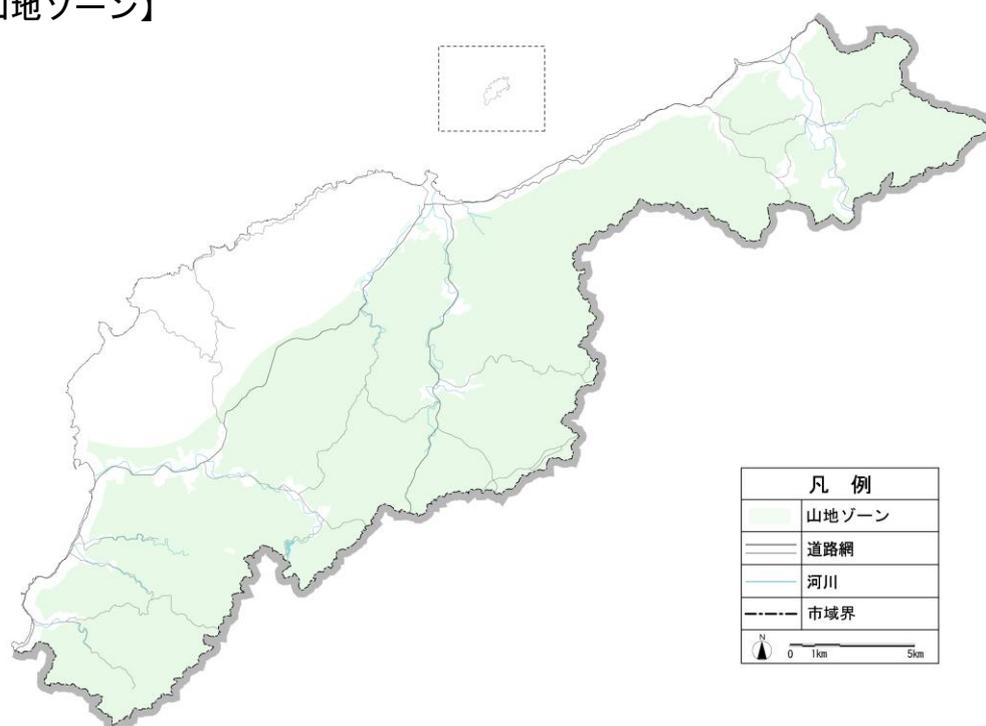
夕日を楽しめる空間づくり

海岸清掃、緑化などに市民が参加

袖ヶ浜海岸

②山地景観エリア形成方針

【山地ゾーン】

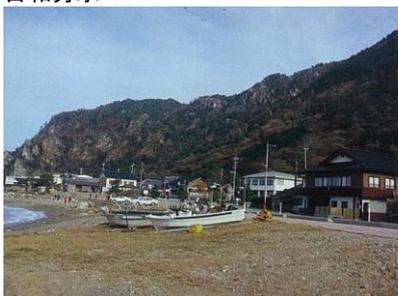


■ 景観特性 ■

- ・ 緑豊かな山並み（岩倉山、高洲山、高爪山など）
- ・ 山地内の美しい集落やスギ、能登ヒバ林など林業を生業とした景観
- ・ 輪島の市街地や集落の背景となる山並み
- ・ 山頂などから眺める海、集落などの眺望景観
- ・ 市街地や海岸などの平地部分から見る山々が連続する尾根線
- ・ 巨樹巨木（八太郎峠の紅葉・高洲山ブナ林・細屋の大杉）
- ・ 旧街道跡や馬場城址・天堂城址などの歴史的史跡
- ・ 八ヶ川ダム湖の景観
- ・ 健康の森などのレクリエーション施設



古和秀水



岩倉山



高洲山からの眺望

■景観形成上の課題■

- ・市街地や集落の背景となる山並みは、市民の生活に潤いを与える自然環境として、適切な維持・保全が重要であり、市街地から見られる景観として、開発などによる景観阻害がないような配慮が求められます。
- ・鉄塔や風力発電施設などを建設する際には、集落や市街地、歴史的なまちなみなどから目立たないような配慮が求められるほか、事業者と調整を行い、山地景観を保全することも求められます。
- ・山頂などの展望地については、案内板の充実や登山道・眺望点の整備などを行い、景観資源の利活用に務めます。

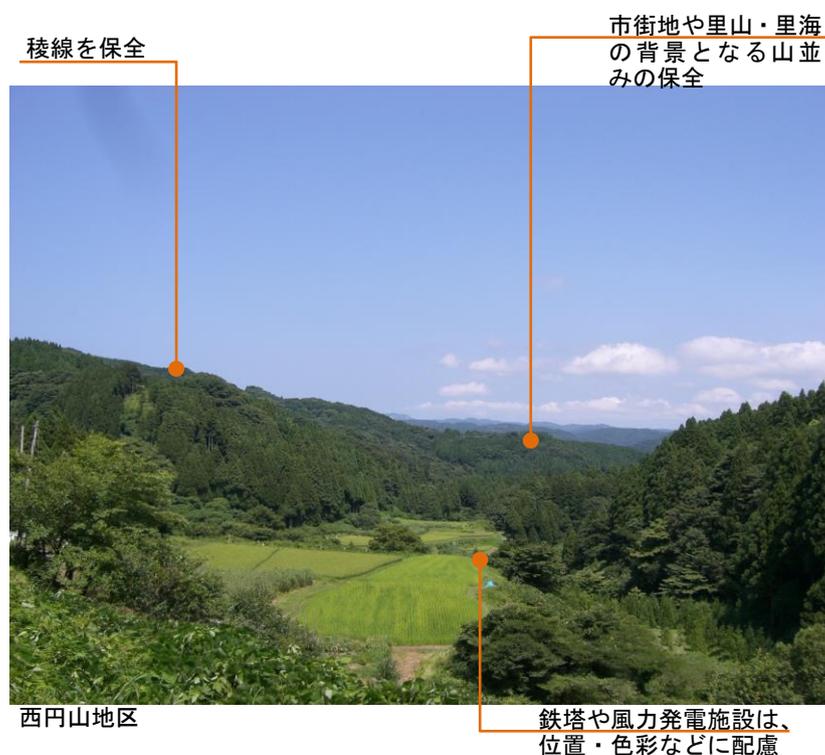
■景観形成方針■

1. 市街地などの背景となる山並み景観の保全に努めます。

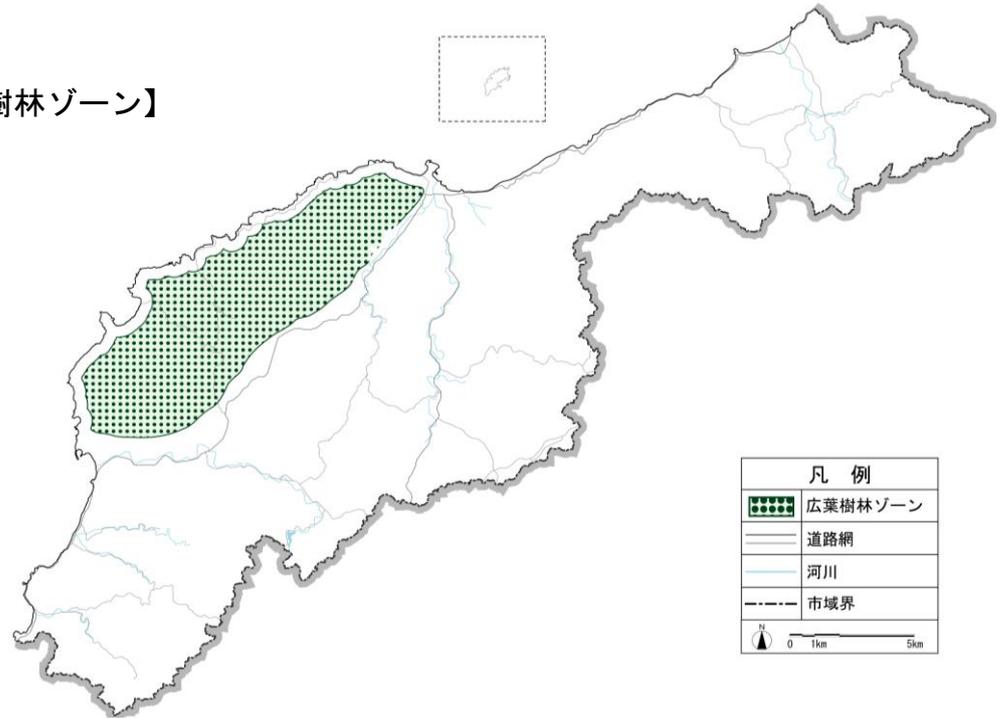
- ・市街地や漁村集落、田園集落などの背景となる山地景観は、豊かな自然に囲まれた輪島市を特徴づける重要な景観要素であるため、大規模な建築物等の建築や開発行為などは、市街地や集落、道路などから目立たないよう山地景観の保全に努めます。

2. 山地景観に配慮した事業活動に努めます。

- ・鉄塔や風力発電施設は、高さや形状、色彩などに配慮するとともに、沿道や市街地などから目立たず、稜線を阻害しないよう設置位置を工夫するなど山地景観の保全に努めます。



【広葉樹林ゾーン】



■ 景観特性 ■

- ・ 広葉樹や雪割草などの自然豊かな景観
- ・ 新緑がまぶしい春の景観
- ・ 色とりどりの紅葉による秋の景観
- ・ 冬枯れの枝に雪が積もる冬の景観
- ・ 輪島の市街地や集落の背景となる山並み
- ・ 山頂などから眺める海、集落などの眺望景観
- ・ 市街地や海岸などの平地部分から見る山々が連続する尾根線

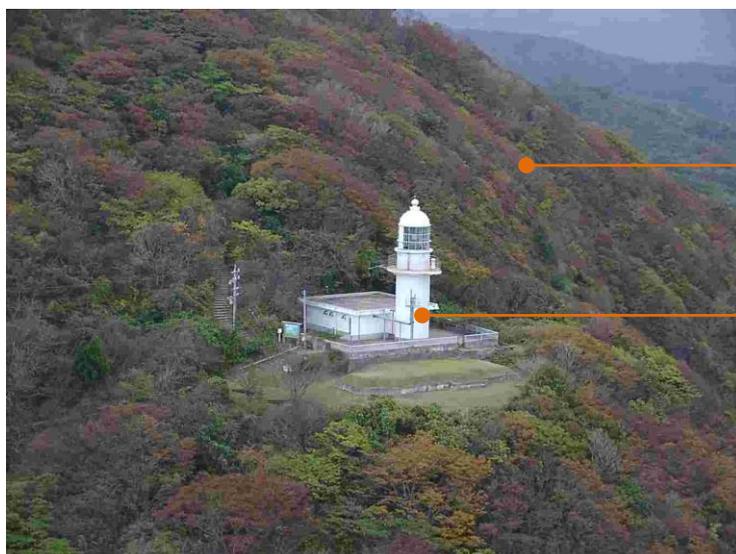
■ 景観形成上の課題 ■

- ・ 広葉樹や雪割草など、地域独自の植生の保全が求められます。

■ 景観形成方針 ■

1. 地域独自の植生の保全と活用に努めます。

- ・ 大規模な開発行為などは、市街地や集落、道路などから目立たないように配慮し、良好な景観形成の保全に努めます。
- ・ 広葉樹林の保全や雪割草の保護に努めます。

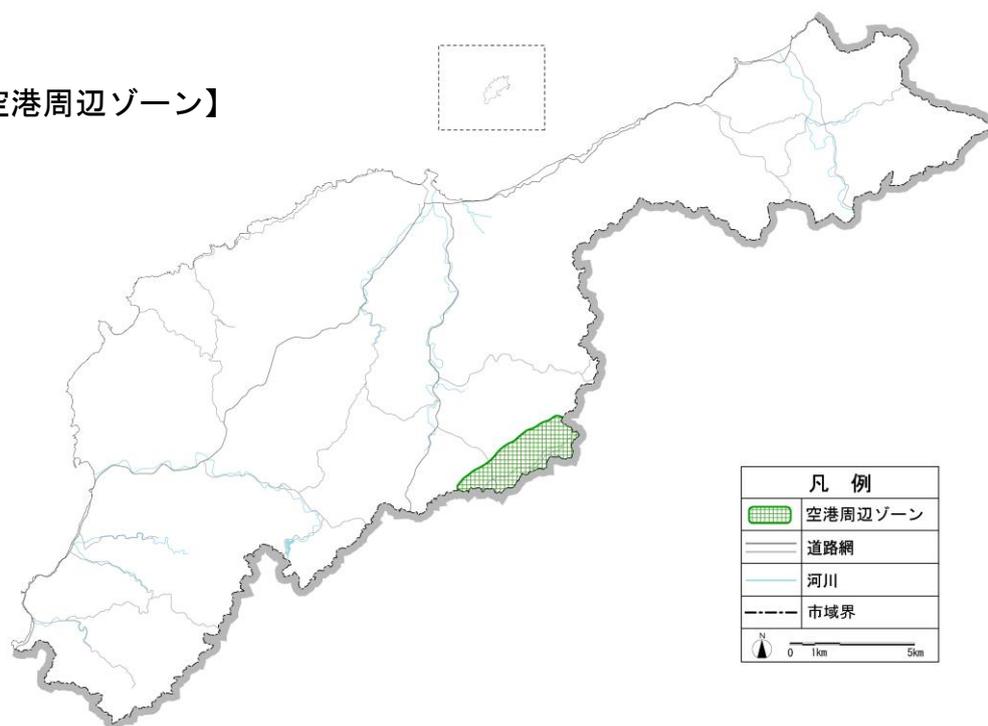


広葉樹林の保全
雪割草の保護

大規模開発などは、周
辺景観に配慮する

猿山灯台

【空港周辺ゾーン】



■ 景観特性 ■

- ・ 白山や立山連峰も望む能登空港からの眺望景観
- ・ 離着陸時の航空機の窓から見える輪島空港周辺の面的に広がる自然景観
- ・ 能登空港の展望台から見える山々が連続する尾根線

■ 景観形成上の課題 ■

- ・ 能登空港は輪島市の空の玄関口として重要な場所であり、輪島らしい景観形成が求められます。

■ 景観形成方針 ■

1. 能登空港からの眺望景観に配慮した事業活動に努めます。

- ・ 能登空港からの眺望景観に大きな影響を及ぼすと思われる、大規模な工作物などの建設においては、周囲の景観に調和した景観形成に努めます。
- ・ 建築物の屋根などは航空機からの俯瞰景に配慮し、玄関口としてふさわしい景観形成に努めます。

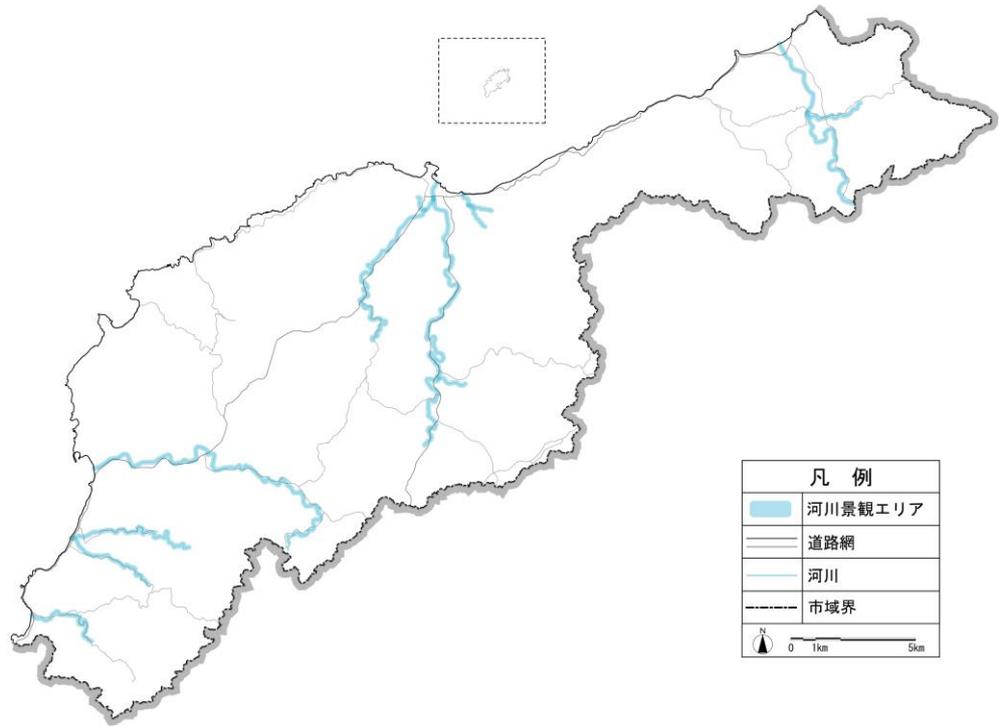


空港からの眺望景観を保全

大規模工作物などは、周辺景観との調和に配慮

空港の展望台からみえる風景

③河川景観エリア形成方針



■ 景観特性 ■

- ・市街地のうるおいとなっている景観（河原田川、鳳至川）
- ・山間の清流、せせらぎ（渋田川など）
- ・滝（男女滝、桶滝、桜滝など）
- ・個性的な橋梁（いろは橋、汐見橋、五里分橋など）
- ・季節の移り変わりを演出する川沿いの桜並木など
- ・川沿いの建物や工作物と背景の山並みなどが一体となった景観
- ・沿川の田園景観などと調和する自然護岸



仁岸川



男女滝



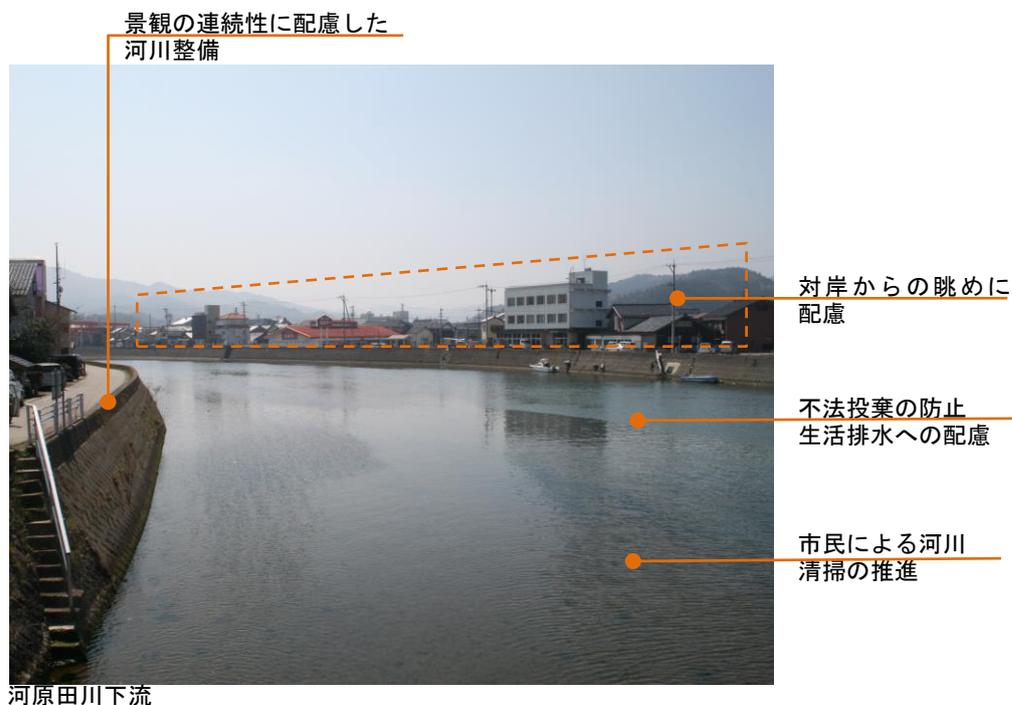
いろは橋

■景観形成上の課題■

- ・市街地の河川沿いは、うるおいある河川景観との調和に配慮する必要があります。
- ・河川の水質・景観保全のための市民の理解や活動への参加が求められます。
- ・軸状に連続する景観として、河川デザインの連続性・統一性の確保が求められます。

■景観形成方針■

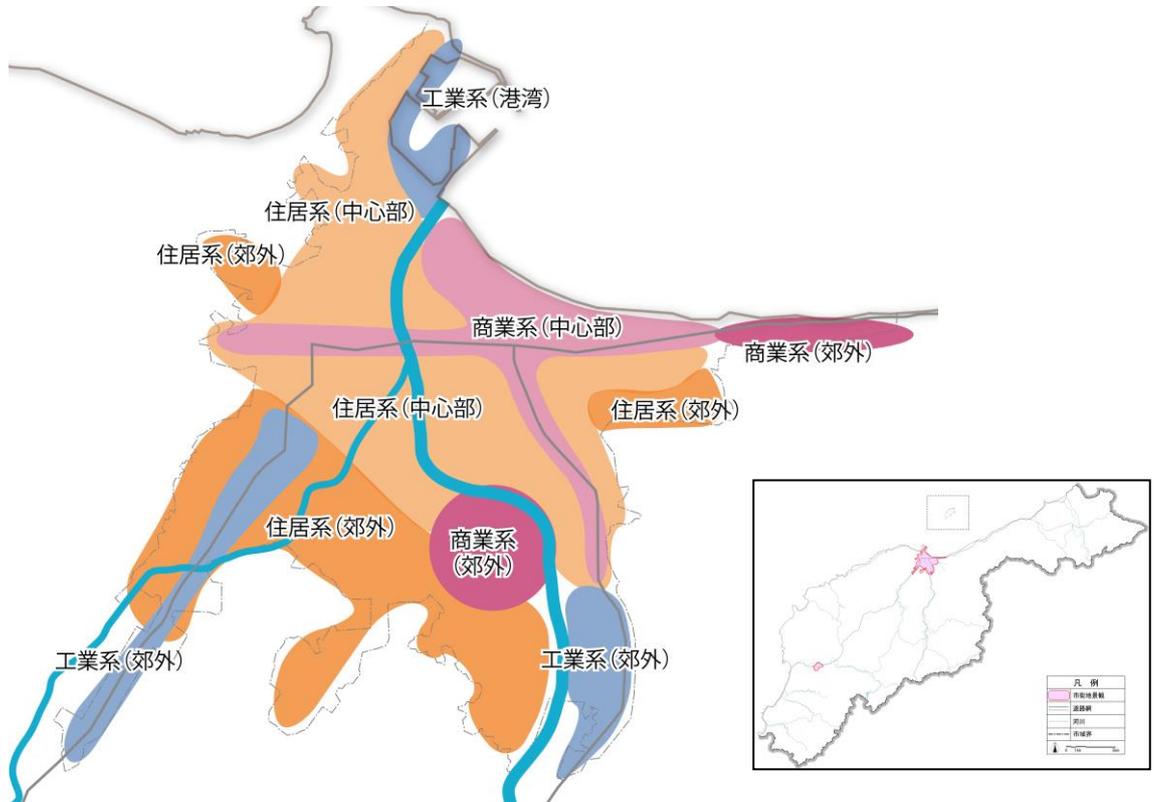
1. うるおいある河川景観と調和した川沿い景観の規制誘導に努めます。
 - ・河川沿いでは遠景が眺められ、対岸の建築物などが目立つ場合が多いことから、川沿いからの眺めを配慮した景観形成に努めます。
 - ・橋上では、上下流方向に広がりのある眺望景観を楽しめるため、眺望景観を妨げないように配慮するなど、橋を視点場とした景観形成に努めます。
2. 軸としての連続性に十分配慮した河川整備に努めます。
 - ・河川の護岸整備や植栽などにおいては、沿川の景観との調和に十分配慮しつつ、河川軸として連続性のある景観形成に努めます。
3. 河川清掃・生活排水への配慮など市民・事業者・行政の協力・連携による景観保全に努めます。
 - ・河川での不法投棄の防止や清掃活動を市民とともに推進し、生活排水への配慮による清流保全にも努めます。



(2) まちなみ景観エリア

①市街地景観エリア形成方針

【輪島地区市街地ゾーン】



■景観特性■

○共通事項

- ・黒瓦、下見板張り、切妻造などの伝統的な建物が多（中心部）
- ・神社などの鎮守の森や巨樹
- ・地区のシンボルとなっている寺社の大屋根

○住居系（住宅などが多い地区）

- ・低層の建物が多く立地
- ・茶系や無彩色などの落ち着いた色彩の建物が多く立地
- ・浜屋づくりなどの伝統的な建物による景観（中心部）
- ・生垣や前庭など敷地内を緑化している緑豊かな住宅景観（郊外）



○商業系（店舗や商業施設が多い地区）

- ・ホテルや事務所などの中高層の建築物
- ・幹線道路沿道に伝統的な意匠の店舗が建ち並ぶ（中心部）
- ・大型の商業施設が市街地外縁部に立地（郊外）



○工業系（工場や倉庫が多い地区）

- ・大規模な施設が立地
- ・市街地外縁部の幹線道路沿道に倉庫や工場などが立地（郊外）
- ・港湾施設や漁港施設による港景観（港湾）

■景観形成上の課題■

- ・住居系（住宅などが多い地区）では、低層住宅による落ち着いた景観が形成されており、緑化の推進や建物の色彩などの統一により、閑静で良質な住宅景観の形成が求められます。
- ・歴史的な生業や佇まいが残る中心部では、良好なまちなみ景観の維持・創出が図られるよう、規制誘導策や支援策の検討が求められます。
- ・商業系（郊外の商店などが多い地区）では、中高層のホテルや大型商業施設が点在しており、市街地及び市街地周辺から山地景観や海への眺望景観を阻害する建物が見られ、高さや位置、色彩などに配慮が求められます。
- ・工業系（工場や倉庫が多い地区）では、大型の建物が立地し、無機質な景観を形成しており、周辺の緑化や色彩などに配慮が求められます。

■景観形成方針■

1. 輪島の伝統的な意匠を活かした住環境の創出に努めます。
 - ・歴史的な風情を残す住宅地を保全するとともに、新たな住宅団地は緑化の促進や統一感のあるまちなみの形成を図り、良好な住環境の形成に努めます。
2. 市街地の背景となる自然景観との調和に努めます。
 - ・大型商業施設等の屋上看板や中高層建築物等は、市街地及び市街地周辺から山地の稜線や海への眺望を阻害しないよう自然景観と調和した景観形成に努めます。
3. 輪島らしい景観の創出に努めます。
 - ・市街地の賑わいを形成する地区では、歴史的な趣のあるまちなみと調和した景観形成に努めます。
 - ・流通施設・工場・倉庫などの建築物や工作物などは、殺風景な景観とならないよう、壁面の大きさや意匠・色彩などに配慮した景観形成に努めます。
 - ・旧市街地においては、輪島らしい景観（低層建築物・黒瓦・板張り・漆喰壁・茶系等）との調和に十分配慮した景観形成に努めます。

背景となる
自然景観との調和

伝統的な意匠
茶系色

屋上広告物や建物の
スカイラインに配慮

伝統的な意匠
黒瓦の保存・継承

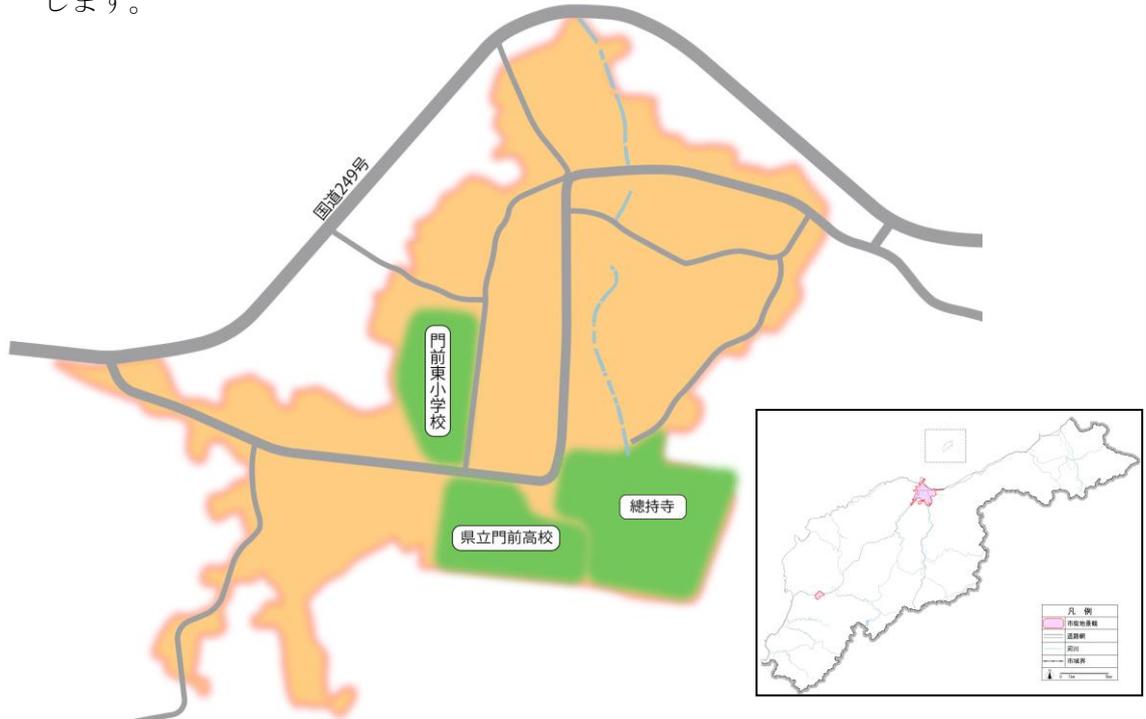
伝統的な意匠
板張りの保存・継承



輪島市街地

【門前地区市街地ゾーン】

門前地区の市街地景観エリアは、總持寺祖院（以下總持寺とする）を中心にまとまった景観を有するゾーンであり、「門前市街地ゾーン」として1つのゾーンとします。



■ 景観特性 ■

- ・ 總持寺を中心とした歴史的なまちなみ
- ・ 低層の建物が多く立地
- ・ 黒瓦、下見板張り、切妻造などの伝統的な建物が多い
- ・ 茶系の落ち着いた色彩の建物が多く立地
- ・ 生垣や前庭など敷地内を緑化している緑豊かな住宅景観
- ・ 總持寺の緑
- ・ 神社の鎮守の森や巨樹
- ・ 集落のシンボルとなっている寺社の大屋根



總持寺周辺

■景観形成上の課題■

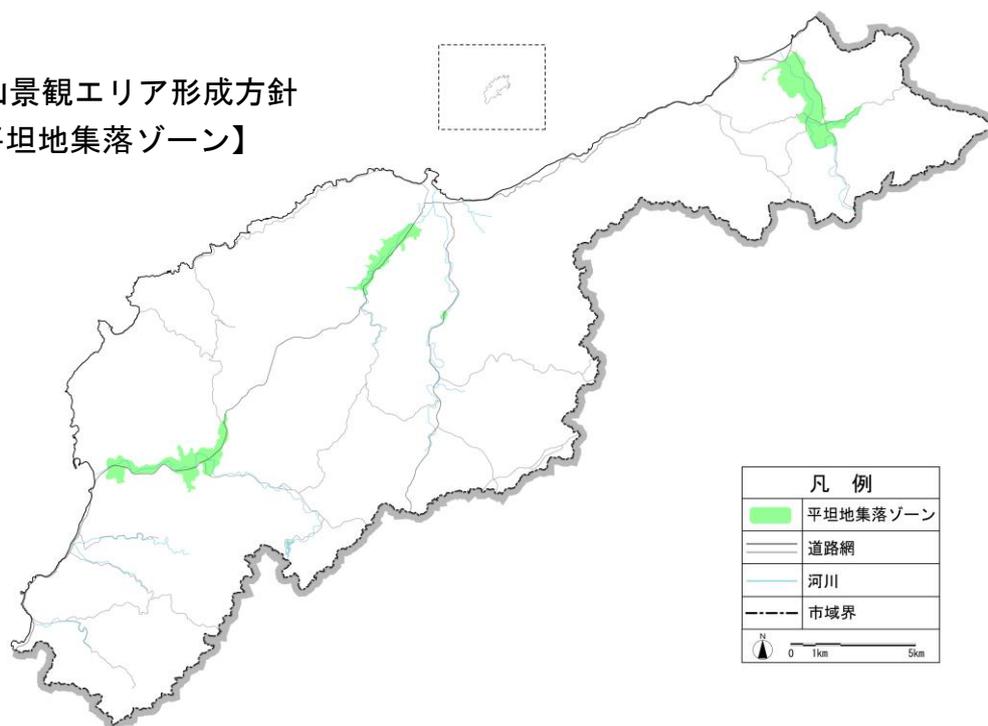
- ・歴史的な生業を感じられる門前地区の市街地ゾーンにおいては、良好なまちなみ景観の維持・創出が図られるよう、規制誘導策や支援策の検討が求められます。
- ・總持寺の門前町としての雰囲気を活かした景観形成が求められます。

■景観形成方針■

1. 門前らしい景観の創出に努めます。
 - ・市街地の賑わいを形成する地区では、歴史的な趣のあるまちなみと調和した景観形成に努めます。
 - ・店舗の屋外広告物等も歴史的なまちなみと調和した形態・意匠・色彩・素材などの使用に努めます。
 - ・門前らしい景観（低層建築物・黒瓦・板張り・漆喰壁・茶系等）との調和に十分配慮した景観形成に努めます。
2. 門前の伝統的な意匠を活かした景観の創出に努めます。
 - ・歴史的な風情を残す商業地や住宅地を保全するとともに、緑化の推進や統一感のあるまちなみの形成を図り、良好な住環境の形成に努めます。



②里山景観エリア形成方針
【平坦地集落ゾーン】



■景観特性■

- ・ 広がりのある田園風景（町野川、鳳至川、八ヶ川などの河川周辺）
- ・ 水田と伝統的な農家住宅、用水、背景の山林が一体となった集落景観
- ・ 神社などの鎮守の森や巨樹
- ・ 集落のシンボルとなっている寺社の大屋根
- ・ 生垣や前庭など敷地内を緑化している緑豊かな集落景観
- ・ 黒瓦や漆喰壁、下見板張りなどの伝統的な素材の家屋
- ・ 茅葺き屋根や、茅葺きを鋼板で覆った家屋
- ・ 黒瓦、漆喰壁などの土蔵・納屋などの付属屋を持つ家屋
- ・ 茶系の落ち着いた色彩の建物が多く立地
- ・ 干し柿、はさ干しなど伝統的な生活景観



桶戸地区



和田地区



房田地区

■景観形成上の課題■

- ・里山景観は水辺・田畑・家屋・背後の山並みなどの景観要素が一体となった景観を形成しており、個々の景観要素の保全・育成と里山景観全体としての調和が求められます。
- ・農業の営みによって形づくられる里山景観は、近年農家の後継者不足や少子高齢化による空き家の増加などによって荒廃が進んでおり、景観保全のための担い手育成や定住・交流人口の増加などによる景観の継承が求められます。

■景観形成方針■

1. 水辺・田畑・家屋・周辺の自然環境が一体となった里山景観の保全に努めます。
 - ・用水などの水辺・田畑・家屋・背後の山並みなどの里山景観を形成する各景観要素の育成・保全に努めます。
 - ・伝統的家屋・土蔵・生垣などを保全するとともに、生活景観の継承に努めます。
 - ・広がりのある水田などを保全するとともに、集落の背景となる薪炭林など人と自然とが関わりながら形成された里山景観の保全に努めます。
2. 担い手育成や交流人口の増加などによる里山景観の保全・継承に努めます。
 - ・景観の継承のため空き家の活用・維持管理の推進、耕作放棄地の景観作物の作付けなど、住民や事業者、市民ボランティアなどが連携した景観保全に努めます。
 - ・農業振興地域内で、景観と調和した良好な営農条件を確保する必要がある地域については、景観農業振興地域整備計画の策定を検討し、魅力ある里山景観の形成に努めます。

背景の山並み保全
薪炭林の保全

はさ干し等の保全

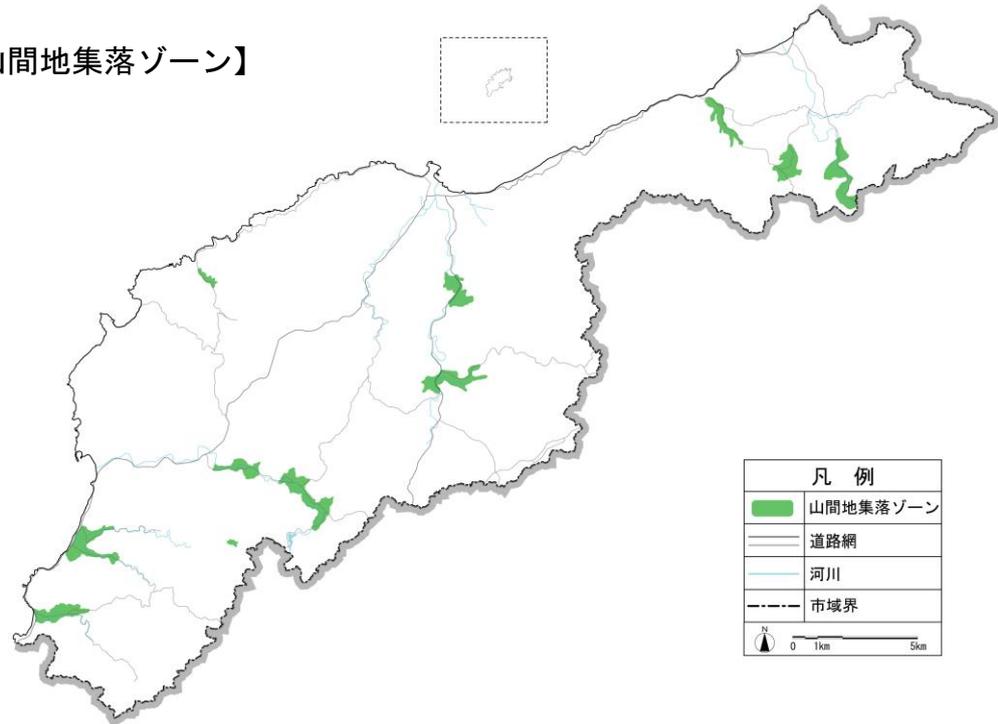


伝統的家屋、土蔵、
生垣・石垣、鎮守の
森などの保全

水田の保全
耕作放棄地の活用
担い手の育成

山本地区

【山間地集落ゾーン】



■ 景観特性 ■

- ・ 棚田などの水田と伝統的な農家住宅・用水・背景の山林が一体となった集落景観
- ・ スギ、能登ヒバ林などが集落の背景となっている景観
- ・ 集落のシンボルとなっている寺社の大屋根
- ・ 神社などの鎮守の森や巨樹
- ・ 生垣や前庭など敷地内を緑化している緑豊かな集落景観
- ・ 黒瓦や漆喰壁、下見板張りなどの伝統的な素材の家屋
- ・ 茅葺き屋根や、茅葺きを鋼板で覆った家屋
- ・ 黒瓦、漆喰壁などの土蔵・納屋などの付属屋を持つ家屋
- ・ 茶系の落ち着いた色彩の建物が多く立地
- ・ 干し柿、はさ干しなど伝統的な生活景観



三井地区



大沢地区の棚田



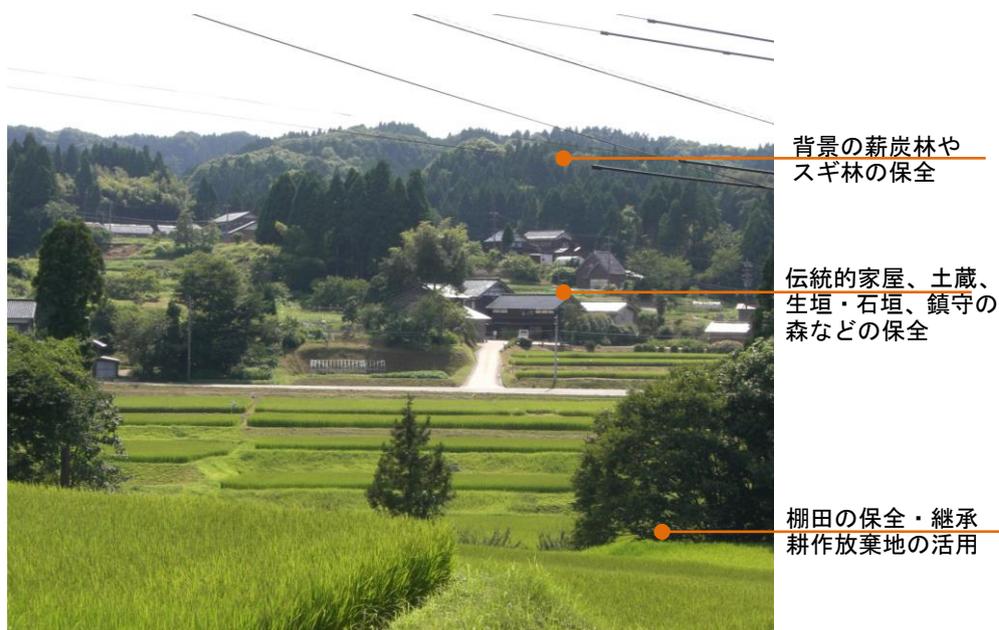
金蔵地区

■景観形成上の課題■

- ・山間地は、高台から里山景観を望むことができ、水辺・棚田・家屋・背後の山並みが一体となった景観を形成しており、個々の景観要素の保全・育成と里山景観全体としての調和が求められます。
- ・棚田では、農業機械による作業が限定されるため、人手不足による耕作放棄地の増加が進んでおり、景観保全のための担い手育成や定住・交流人口の増加などによる景観の継承が求められます。
- ・また、林業の衰退により、集落背後地のスギや能登ヒバ林などの荒廃が見られ、景観保全のための担い手育成などが求められます。

■景観形成方針■

1. 棚田の継承による景観の保全に努めます。
 - ・高齢化や後継者不足により棚田の維持が困難であるため、棚田のオーナー制度や棚田サポーターなどによる棚田の継続的な維持と里山景観の保全に努めます。
2. 水辺・棚田・家屋・周辺の自然環境が一体となった里山景観の保全に努めます。
 - ・用水などの水辺・棚田・家屋・スギ林などの里山景観を形成する各景観要素の育成・保全に努めます。
 - ・伝統的家屋・土蔵・生垣などを保全するとともに、生活景観の継承に努めます。
 - ・集落の背景となる薪炭林やスギ林の保全などに努めます。
3. 担い手育成や交流人口の増加などによる里山景観の保全・継承に努めます。
 - ・景観の継承のため空き家の活用・維持管理の推進、耕作放棄地の景観作物の作付けなど、住民や事業者、市民ボランティアなどが連携した景観保全に努めます。
 - ・農業振興地域内で、景観と調和した良好な営農条件を確保する必要がある地域については、景観農業振興地域整備計画の策定を検討し、魅力ある里山景観の形成に努めます。



背景の薪炭林やスギ林の保全

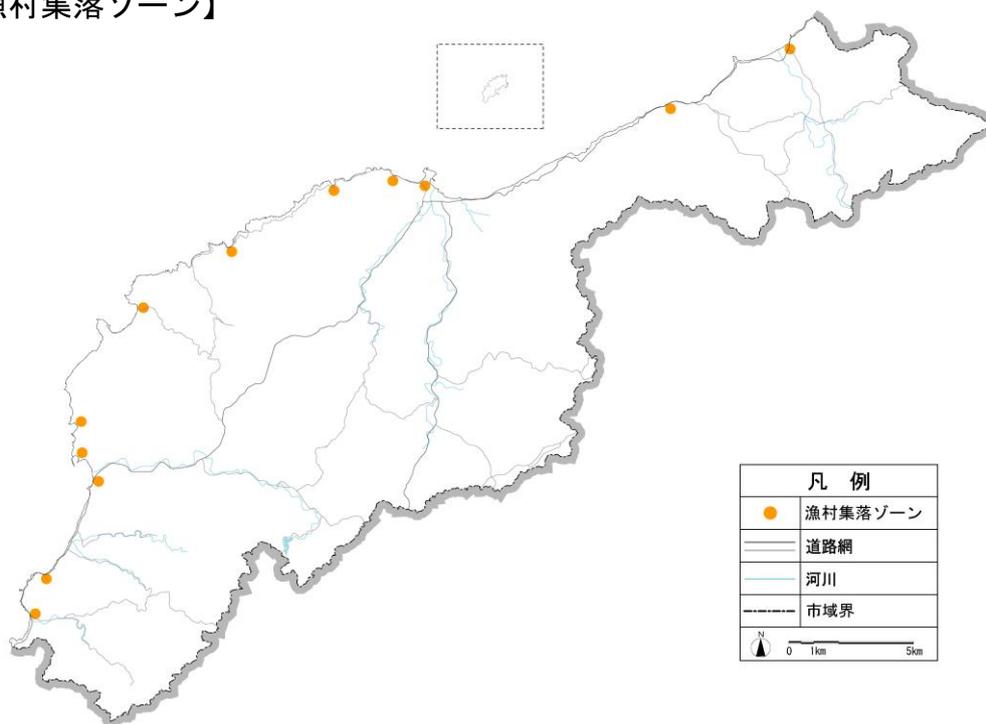
伝統的家屋、土蔵、生垣・石垣、鎮守の森などの保全

棚田の保全・継承
耕作放棄地の活用

金蔵地区

③里海景観エリア形成方針

【漁村集落ゾーン】



■景観特性■

- ・港内に停泊した漁船と港を取り囲むように立地する民家が調和した景観
- ・黒瓦や漆喰壁、下見板張りなどの伝統的な素材の家屋
- ・細い坂道や階段沿いに木造住宅が連なる景観
- ・茶系の落ち着いた色彩の建物が多く立地
- ・神社などの鎮守の森や巨樹
- ・灯台や日和山からの眺望景観
- ・集落のシンボルとなっている寺社の大屋根
- ・干し網、干物など伝統的な生活景観
- ・海沿いに設けられた船小屋や倉庫が連なる景観
- ・集落の背後地に広がる急勾配地形を活かした畑などの農地



輪島港



名舟海岸の鳥居



鵜入港

■景観形成上の課題■

- ・漁村集落の民家は、厳しい気象条件や風土に根付いた伝統的で落ち着いた意匠や形態で統一されており、地域住民の理解や協力を得ながら、統一感のある景観保全が求められます。
- ・漁村景観の中には、狭小宅地や幅員が狭く急傾斜な道路などが多く、火災の危険性が高い集落もあり、漁村景観を維持継承しながら、安全・安心して暮らせる居住環境の整備や空き家の維持管理などの推進が求められます。

■景観形成方針■

1. 生活と密着した里海景観の保全に努めます。

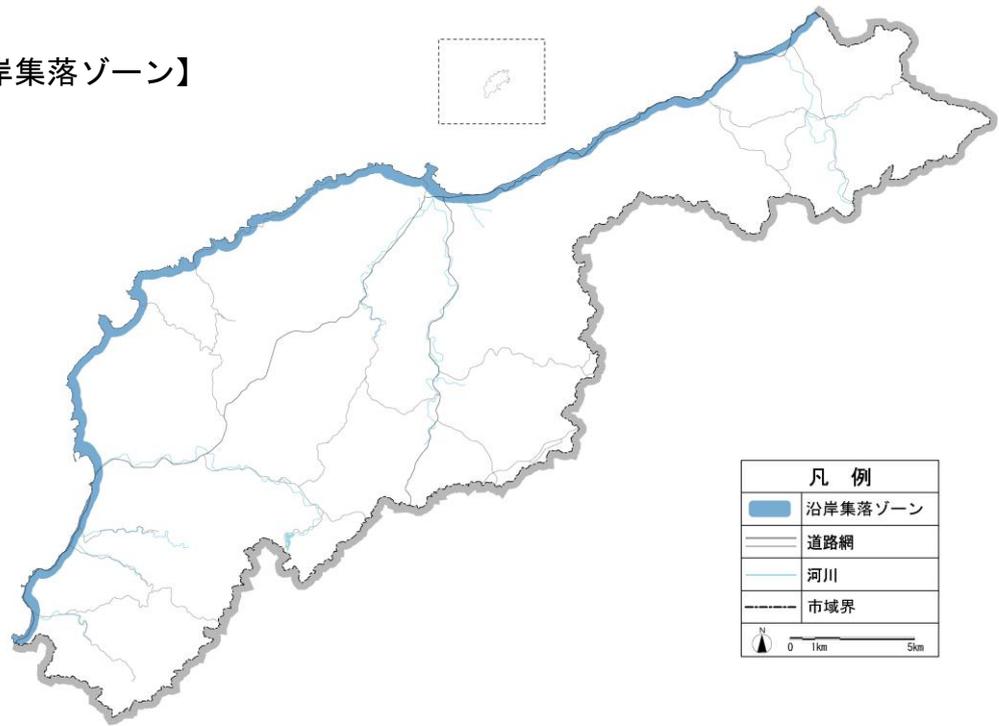
- ・里海景観を形成する様々な景観要素は、人々の生活と密接に関わっているため、住民の協力や連携により、屋根瓦の統一など建物形態意匠の誘導、漁港の環境美化などに努め、地域の個性的な里海景観の保全に努めます。
- ・倉庫などの漁港施設は、集落の景観と調和するよう形態意匠や色彩に十分配慮します。

2. 景観保全のための生活環境充実に努めます。

- ・漁村集落を市民が住み続けられる安全で安心な住環境とするため、景観を保全しながら、住宅の防火・耐震対策などの推進、空き家の適正な維持管理などの推進に努めます。



【沿岸集落ゾーン】



■ 景観特性 ■

- ・「間垣」の景観（皆月地区、上大沢地区、大沢地区など）
- ・北前船で栄えた江戸時代後期の町並み（黒島地区）
- ・黒瓦や漆喰壁、下見板張りなどの伝統的な素材の家屋
- ・細い坂道や階段沿いに木造住宅が連なる景観
- ・茶系の落ち着いた色彩の建物が多く立地
- ・神社などの鎮守の森や巨樹
- ・集落のシンボルとなっている寺社の大屋根
- ・干し網、干物など伝統的な生活景観
- ・間垣に囲まれた路地空間や通り庭などの生活景観
- ・集落の背後地に広がる急勾配地形を活かした畑などの農地



上大沢地区の間垣



黒島地区の町並み



上大沢地区の間垣

■景観形成上の課題■

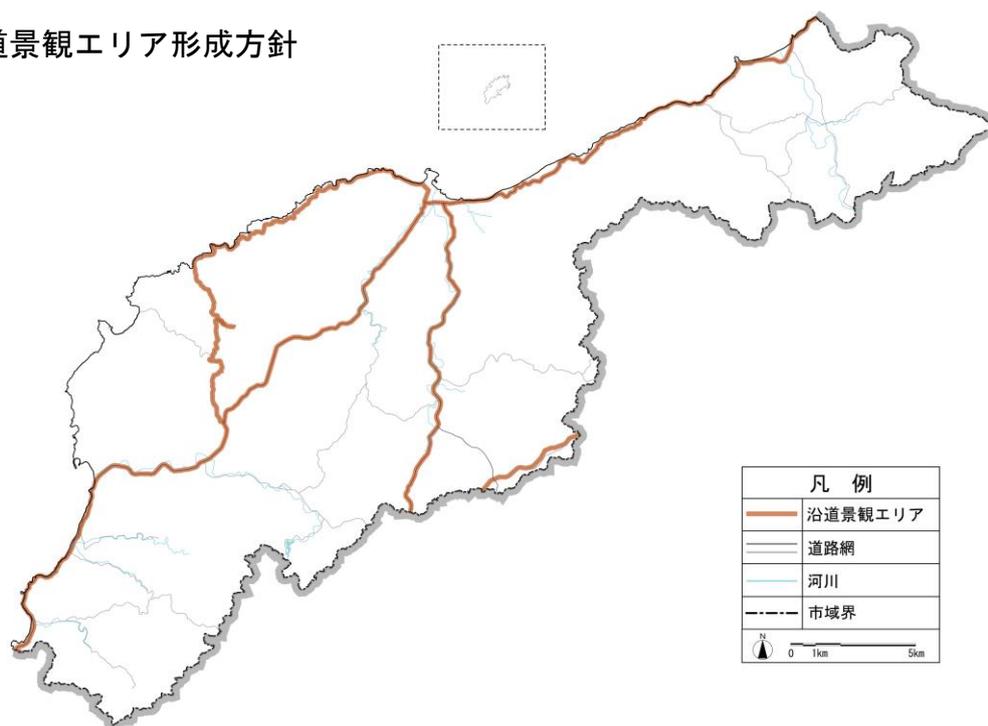
- ・西保地区・皆月地区の海岸景観を代表する「間垣」の維持・継承のため、重要文化的景観の選定などの支援策が求められます。
- ・沿岸集落は漁村集落同様に、厳しい気象条件や風土に根付いた伝統的で落ち着いた意匠や形態で統一されており、地域住民の理解や協力を得ながら、統一感のある景観保全が求められます。

■景観形成方針■

1. 伝統的な佇まいの残る里海景観の保全に努めます。
 - ・地元の素材を使用した間垣や伝統的な建物など、地域の風土と生業が一体となった景観の保全に努めます。
 - ・間垣集落に残る路地空間や通り庭などの生活景観の保全に努めます。
2. 生活と密着した里海景観の保全に努めます。
 - ・里海景観を形成する様々な景観要素は、人々の生活と密接に関わっているため、住民の協力や連携により、屋根瓦の統一など建物形態意匠の誘導などに努め、地域の個性的な里海景観の保全に努めます。
3. 景観保全のための生活環境充実に努めます。
 - ・沿岸集落を市民が住み続けられる安全で安心な住環境とするため、景観を保全しながら、住宅の防火・耐震対策などの推進、空き家の解消や維持管理などの推進に努めます。



④沿道景観エリア形成方針



■景観特性■

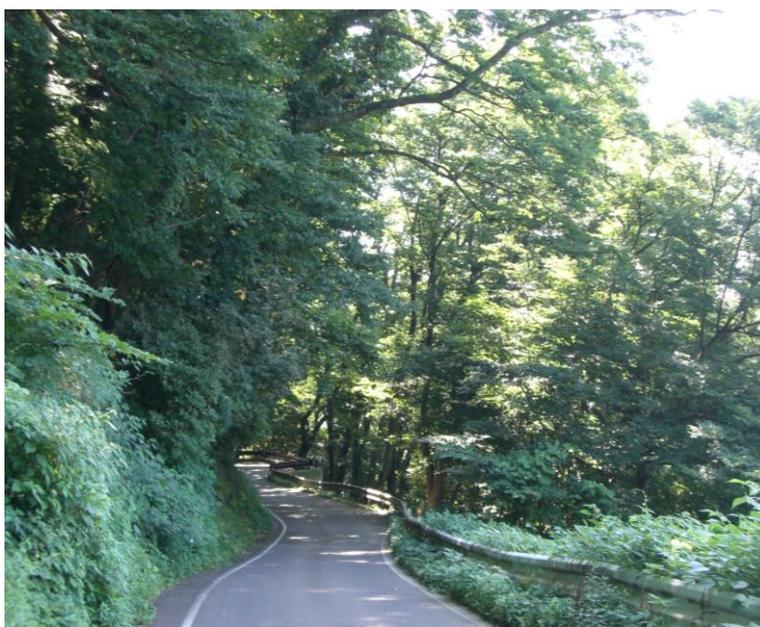
- ・ 緑豊かな山間丘陵地の景観（国道 249 号・主要地方道輪島浦上線）
- ・ 沿道の桜並木や街路樹
- ・ 海岸沿いのケヤキのトンネル（主要地方道輪島浦上線）
- ・ 断崖・海岸・砂浜・松林などの景観が見え隠れする海岸沿いの沿道景観
- ・ 夕日や漁火などの景観
- ・ 桜並木・紅葉・波の花など季節感のある景観
- ・ アクセントとなっているトンネルや橋りょうなど
- ・ 大型の商業施設や工場などの立地（市街地外縁部）
- ・ 輪島らしいまちなみの商店街による賑わい景観
- ・ 沿道から見える水田・家屋・背景の山地で形成される輪島の里山景観
- ・ 集落のシンボルとなっている寺社の大屋根



主要地方道七尾輪島線



国道 249 号(海岸沿い)



ケヤキのトンネル

■景観形成上の課題■

- ・主要幹線道などの沿道には景観阻害要因となる野立広告が多く設置されている箇所も見られ、輪島らしい景観形成に向けた屋外広告物や沿道建物の規制誘導などが求められます。
- ・沿道の視界が開かれる箇所では、雄大な海岸部や漁村、漁港、農村景観などを望むことが出来る視点場の整備などが求められます。
- ・シンボルロードや主要なアクセス道路においては、街路樹・植栽の整備など、沿道景観の修景や季節感のある沿道景観の演出などが求められます。

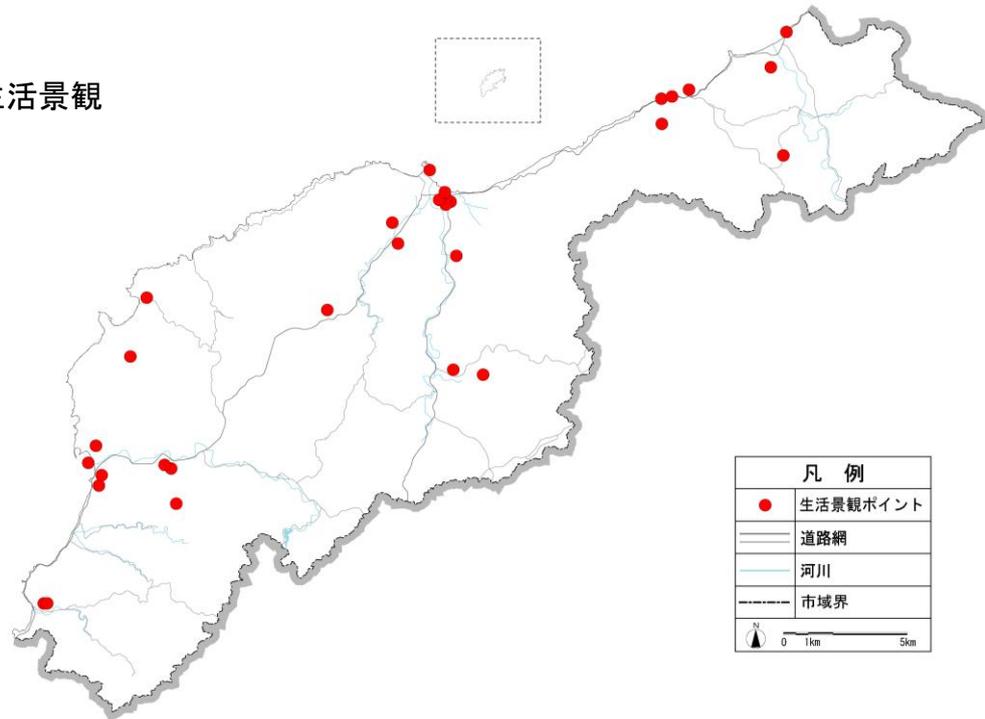
■景観形成方針■

1. 快適かつ安全な景観ネットワークの形成に努めます。
 - ・能登観光の主要アクセス道路などにおいては、快適で安全な景観軸の形成が求められ、案内サインなどにおいても、沿道の自然景観などを阻害しないようデザインや色彩を工夫するなど、沿道景観の保全に努めます。
2. 良好な沿道景観の形成に努めます。
 - ・沿道の建築物や工作物、屋外広告物に対し良好な景観形成のための形態・意匠・色彩などのルールづくりを促進し、それと調和した道路整備を図るように努めます。
3. 良好な景観資源の保全に努めます。
 - ・道路からの山並みや海岸線などの眺望景観や、沿道の良好な景観の保全に努めます。
4. 移動する歩行者や車からの視点に配慮した沿道景観の形成に努めます。
 - ・沿道景観は観光バスや自動車からの視点に配慮し、屋外広告物などの規制誘導や、街路樹などによる沿道緑化の推進などの景観づくりに努めます。



主要地方道七尾輪島線

(3) 生活景観



※未来に残したい景観意見募集結果や観光資料などにおいて抽出した主な風習や祭りなどの生活景観

■ 景観特性 ■

- ・ 朝市、振り売りなど温かみのある人とまちが創り出す景観
- ・ 漁村集落や農村集落において、干し網、天日干し、稲のはさ干し、干し柿など四季を通じて人の手で生業とともに創り出される景観
- ・ 曳山祭り、御陣乗太鼓、名船大祭、山王祭、曾々木大祭など、地域の祭りや風習などの景観
- ・ 雪吊り、雪囲いなど季節感のある景観
- ・ 間垣に囲まれた路地空間や通り庭などの景観



御陣乗太鼓



魚の天日干し(漁村の生活景観)



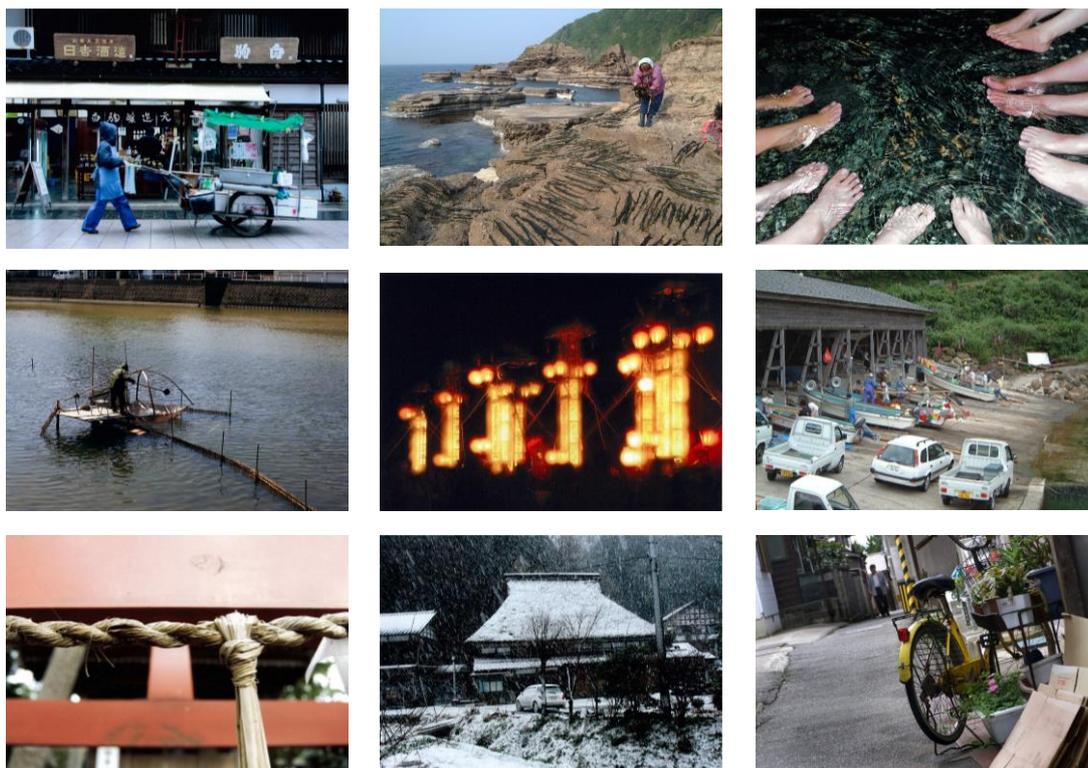
曾々木大祭

■景観形成上の課題■

- ・美しい景観形成には、市民の快適な生活や生業の確保が不可欠であり、バランスの取れた景観誘導などを行うことが求められます。
- ・伝統文化や祭礼など全国に誇れる素晴らしい生活景観を後世へ継承できるよう、景観形成においても、環境整備などのバックアップが求められます。

■景観形成方針■

1. 生活景観の保全継承に努めます。
 - ・市民の日常生活が醸し出す景観こそが、輪島の美しい景観を形成していることを認識し、市民一人ひとりが生活景観の保全継承に努めます。
2. 伝統文化や祭礼の舞台としての景観形成に努めます。
 - ・輪島の伝統文化や風情を大切にし、伝統文化や祭礼などを後世に継承するための環境整備や規制誘導に努めます。



※第1回 輪島市隠れた景観スポット応募作品のうち生活景観に関する主な写真

(4) 眺望景観

鳳来山などの「日和山」から見る港の景観や高洲山から見る雄大な輪島の姿など、高台から海岸へ向けた眺望景観や、能登空港から見える白山や立山連峰などの遠望できる山並みへの景観などバリエーション豊かな眺望景観があります。

■主な眺望ポイント



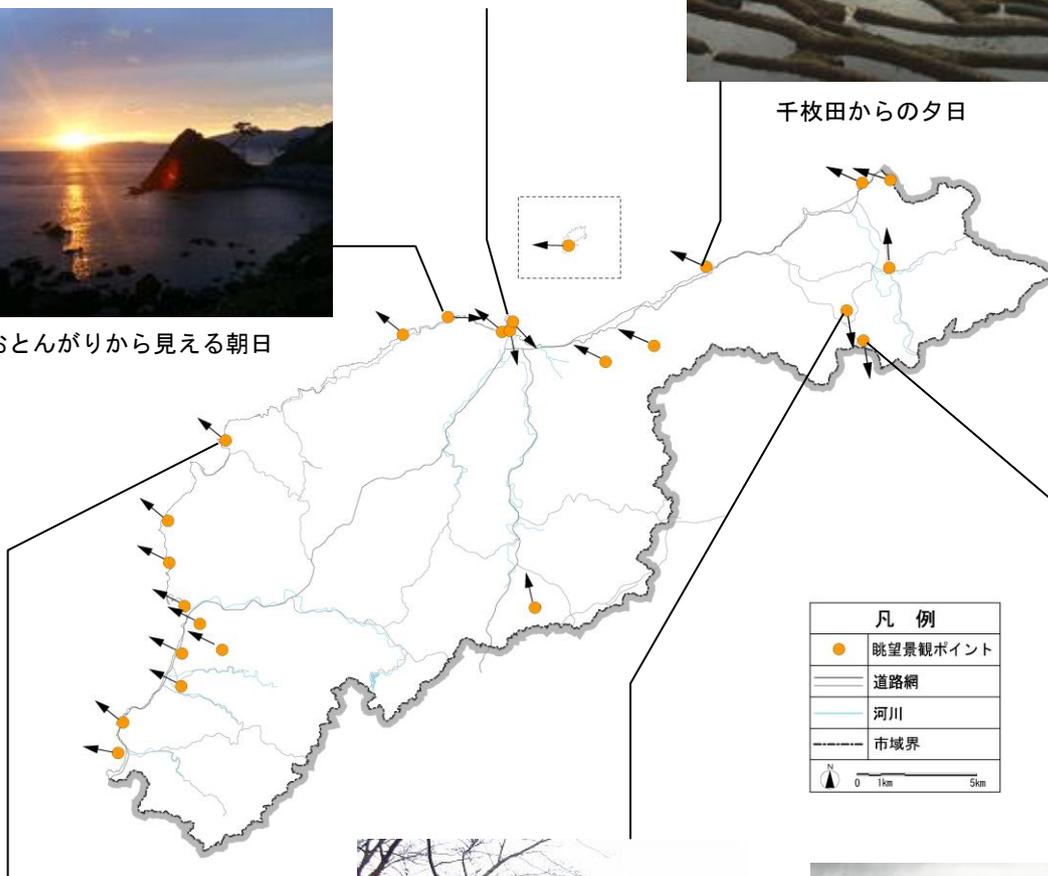
輪島港と黒瓦の港町



千枚田からの夕日



おとんがりから見える朝日



猿山灯台から見る風景



ふりむき岬から見える風景



金蔵の田園風景

※未来に残したい景観意見募集結果や現地調査などにおいて抽出した主な眺望景観ポイント

■景観特性■

○鳳来山などの日和山や西保海岸展望台などの高台から見下ろす景観

- ・遠景：奇岩、海岸、水平線、七ッ島、夕日などの景観
- ・近景：黒瓦の家並み、港、千枚田、棚田などの景観

○高洲山、岩倉山、能登空港などから眺める景観

- ・遠景：地形、豊かな自然、水平線、七ッ島、夕日などの景観
- ・遠景：立山連峰や白山など遠望できる山々
- ・近景：漁港や市街地、黒瓦の家並みなどの景観

○猿山灯台などのランドマークを仰ぎ見る景観

○橋からの上下流の眺望や道路から見える山並み、海岸線などの眺望

■景観形成上の課題■

- ・眺望景観は近景、中景、遠景で構成されるため、視点場からの広範な視界を維持・保全することが重要です。特に近景は眺望景観に与える影響が大きいため、十分な配慮が求められます。
- ・市街地などでは眺望景観を阻害する屋上広告物や工作物などが見られることから、視点場からの眺望景観に配慮した景観誘導が求められます。
- ・輪島の特徴的な眺望景観を楽しめるスポットの指定や案内、視点場周辺の環境整備など、景観誘導と併せて推進することが求められます。

■景観形成方針■

1. 輪島の特徴的な眺望景観と視点場の設定に努めます。
 - ・特徴的な眺望景観を楽しめる視点場を設定し、良好な景観を維持・保全するため、視点場からの視界を遮るような建築物や工作物の規制誘導に努めます。
2. 視点場の確保と整備を図り、良好な眺望景観を提供します。
 - ・良好な眺望景観を誰もが楽しめるように、視点場周辺の環境整備や眺望景観のPRなどに努めます。



劔地